

《担当者名》○坂上哲可 tsakaue@hoku-iryo-u.ac.jp 本家寿洋 浅野雅子 浅野葉子 朝日まどか 依田泰知

【概要】

本講義は、DP2に基づきリハビリテーション専門職として必要な知識の修得を目指す。具体的には、作業療法の歴史的発展を踏まえて、時代・社会背景の変化に呼応した医療・保健・福祉・教育・職業領域等のなかで、作業療法や作業療法士の役割について学ぶ。

【学修目標】

一般目標

対象者個人を尊重し、心身両面から「人がその人らしく作業ができるように援助する」作業療法や作業療法士の役割を理解するために、定義、歴史、求められる知識・技術・態度、対象疾患や対象者、関連される法律や制度などを学び、これらの要点について理解を深める。

行動目標

1. 作業療法の定義や歴史的な変遷の概略について説明ができる。
2. 専門職として作業療法士が関わる守備範囲について説明ができる。
3. 専門職として作業療法士が求められる知識・技術・態度について説明ができる。
4. 各領域における作業療法の実践課程について説明できる。
5. 作業療法を取り巻く種々の課題とその解決法について説明ができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1. ガイダンス 2. 作業療法の意味	・講義の概要、学習目標および内容を確認する。 ・作業療法の定義と対象について学ぶ	坂上哲可
2	作業療法の歴史と予備知識	作業療法の位置づけとICFについて学ぶ	坂上哲可
3	作業療法士に求められる資質と倫理	なぜ倫理を学ぶことが必要なのか、作業療法士に求められる知識・技術・態度について学ぶ	本家寿洋
4	作業療法の過程	評価・課題抽出・援助計画立案・臨床思考過程と実践について学ぶ	坂上哲可
5	身体機能分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の原則について学ぶ	本家寿洋
6	身体機能分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の実際について学ぶ	本家寿洋
7	精神機能分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の原則について学ぶ	浅野雅子
8	精神機能分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の実際について学ぶ	浅野雅子
9	発達過程分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の原則について学ぶ	依田泰知
10	発達過程分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の実際について学ぶ	依田泰知
11	高齢期分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の原則について学ぶ	朝日まどか
12	高齢期分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の実際について学ぶ	朝日まどか
13	地域医療分野における作業療法の実践課程	作業療法実践課程の原則と実践について学ぶ	浅野葉子
14	多職種連携チームによるアプローチ	本学における多職種連携教育について学ぶ	本家寿洋
15	作業療法の課題と今後の展望	作業療法教育と研究並びに社会貢献における課題と役割について学ぶ	坂上哲可

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験：100%

【教科書】

能登 他 編 「作業療法概論（第4版）」 医学書院 2021年
適宜資料を配布する。

【参考書】

必要があれば、講義で紹介する。

【備考】

・ 質疑応答や感想等のフィードバックは、manabaを積極的に用いること。

【学修の準備】

- ・ 予習では、各テーマについて教科書を読んでおくこと（80分）。
- ・ 復習では、配布された資料と教科書ノート等を整理し、統合すること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP2）作業療法に必要な基礎的専門知識と技術を修得し、科学的思考のもと実践する能力を身につけている。

【実務経験】

坂上哲可（作業療法士） 本家寿洋（作業療法士） 浅野雅子（作業療法士） 浅野葉子（作業療法士） 朝日まどか（作業療法士） 依田泰知（作業療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験および教育機関で実務経験を活かし、作業療法の「概観」について、努めて具体的事例を通して教授すること。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している